



新座中だより

学校教育目標
強く 明るく 考える

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-4-1

TEL 048-478-3668

HP <https://j-niiza-c-niiza.edumap.jp/>

新座市立新座中学校

「10月号」

令和6年9月30日発行

やるべきことを**全力**でやるからこそ、その姿は胸を打つ

校長 金子 文春

大谷翔平選手が花巻東高校時代の佐々木洋監督から影響を受けた言葉の一つに「権利と義務」があります。

バッターが打ってボールがグラウンドに転がった時、初めてバッターに一塁まで走る権利が生まれる。その時、(100人を超える野球部員、ベンチに入ることができず) 走ることのできない人に対して**全力**でプレーする義務は、目に見える形で走らないと伝わらない。

大谷選手は日本でもメジャーリーグでも「走ること」に一切手を抜かないことで知られています。「権利と義務」という考え方は高校を卒業した今でも「プロ野球選手としても大事」と考えています。

今月行われた合唱祭。熱中症予防の観点から、例年の体育祭と時期を入れ替えての開催となりました。当初は「合唱を完成させるのにあまりにも時間がない」という心配の声が挙がりました。しかし、いざ当日の会場に足を踏み入れると、それらの心配は一気に吹き飛びました。歌の完成度、合唱づくりを通じた学級・学年間の結びつき、合唱祭成功への貢献心、駆け付けた保護者の期待、体育館にいた人々の熱…。まさに、でき上がっていました。大成功でした。

今回のような素晴らしい成果を収めた理由を「行事に向けた取組の『**全力**』」と考えます。始業式の日が「合唱祭まで残り16日」、クラスで話し合って練習の機会を生み出しました。代表の生徒が中心となって、真剣に取り組む雰囲気づくりに努めました。歌に込められたメッセージや届けたい思いをみんなで話し合いました。学校で行われるすべての教育活動の主役は生徒です。生徒には、大人では決して実現できないほどの成長を遂げるような、青春を輝かせる権利が与えられています。新座中学校は、生徒が創造し、挑戦し、活躍する場面を設け、生徒が失敗し、成功し、そこから学ぶ機会を大切にしています。**全力**でやれる「権利」を生かして取り組んだ合唱祭での新座中生を、誇りに思います。

やるべきことをとことんやる「**全力**」の姿勢は、自分自身はもちろん、他人にも感動を与えます。勉強、部活動、行事、諸活動など、目の前の事に**全力**を傾ける姿勢を、今後も大事にしてください。

